

満1歳で～す！



川口優雅さん(小田野沢)の
長男 優仁くん



齋藤貴春さん(稻崎)の
長女 瑞子ちゃん

★お誕生おめでとう
池田陽彩(徳砂子又)
山崎瑛拓(友和向野)
渡部瑛叶(友和向野)
太石真(徳砂子又)
麦澤拓(友和向野)
田田手(徳砂子又)
美智優(友和向野)
和紀奨(鹿橋)
(和紀(友和向野)
(砂紀(友和向野)
(砂子又(友和向野)

戸籍のまど

(5月届出分)

★お悔やみ申し上げます

川端よしの(小田野沢)	坂上みわ(尻勞)	川端よしの(小田野沢)						
白畠中(入)	白濱進一(岩屋口)	白濱進一(岩屋口)						
中里(入)	中村みや(裏部)	中里(入)						
新谷(尻)	元松(目)	新谷(尻)						
中里(向)	中里(向)	中里(向)						
新谷(向)	元松(名)	新谷(向)						
89歳	63歳	89歳	80歳	75歳	83歳	75歳	82歳	87歳

※個人のプライバシーを尊重する意味で載せてほしくない方は届出の際に係に申し出てくださいとをお願い致します。

ひがしどおりのさんぽみち

今回のさんぽみちは、尻労地区で古くから信仰されている水神様です。尻労土地共有会(小笠原清春会長)の皆さんのが参道付近を整備し、新たに休み処を設置されたので立ち寄らせていただきました。

尻労地区の集落に入る手前、県道172号の道路脇に、大木に囲まれた小さな御堂(河白大明神 別当二本柳一弘)があり、水神様が祀られています。

御堂の前には非常に澄んだ小川が流れています、昔から、付近を通る際は必ずここでひと休みし、小川の水で喉を潤したのだそうです。

小川の水は、眼病をはじめとする病気に効くとも言われ、今でも自宅用に水を汲んだりするそうです。また、北海道や遠洋の漁場へ出かける際はこの小川の川底の小石を拾っていき、旅先の水を飲むときに小石を入れると、水が浄化され、慣れない水にもお腹をこわすことが無かったと伝えられています。*

一方で、尻労地区では「神様の所の木から箸もとるな」「神・社の回り木には枝さも手かけるな」と伝承が残り、水神様の神域の立木も「たとえ小枝であっても取ってはいけない」とされています。*

土地共有会の皆さんのが設置した休み処は、木漏れ日の中でとても居心地がよい場所です。近くを通る際はぜひ立ち寄り、地区の皆さんのが大切にしている水神様と小川が清らかなままでいるよう、マナーを守って参考しましょう。

タイトル:水神様の休み処
情報提供者:尻労土地共有会



(*出典資料:東通村民俗調査報告書)